

<事故速報の様式例>

# 電 気 事 故 速 報

年 月 日

関東東北産業保安監督部電力安全課 御中

(報告者)設置者の所在地 .....  
設置者の名称 .....  
事業所の所在地 .....  
事業所の名称 .....  
報告者名 .....

電気関係報告規則第3条の規定により報告します。

1. 事故発生日時 年 月 日 ( 曜日 ) 時 分 天候 .....
2. 需要設備等 契約電力 kW 受電電圧 kV  
受電形態 [屋外・屋内] [オープン・キュービクル]
3. 事故が発生した  
電気工作物 ..... 使用電圧 V
4. 事故の種類 感電死傷事故 [死亡・負傷] 電気火災事故  
感電以外 [アーク・その他] の死傷事故 [死亡・負傷]  
主要電気工作物破損事故 波及事故  
公共の財産に被害を与えた事故又は社会的に影響を及ぼした事故
5. 事故の概要 波及事故の場合:  
東京電力(株) 変電所 線 波及  
供給支障電力 kW・供給支障時間 時間 分  
東電動作ルー OCR・DGR・GSR・その他 ( )  
供給支障軒数 軒  
PASの場合:メカ 製造年 避雷器 [有・無]  
ケーブルの場合:メカ 製造年 水トリ [有・無]
6. 事故の原因 .....
7. 応急措置 .....
8. 復旧対策 .....
9. 復旧予定日時 年 月 日 時 分 [仮・本復旧]
10. 被災者の情報 [電気関係作業員・その他の作業員・一般公衆]  
[社内者・社外者(社名 )] [男・女] 年齢 歳
11. 主任技術者の [自社選任:専任・兼任・許可] [ビル必選任:専任・兼任・許可]  
選任形態 [外部委託:電気保安法人・電気管理技術者]
12. 電気主任技術者名等 .....  
(事故の発生を知った時刻 時 分)  
電話番号 ..... (現場到着時間 時 分)  
受信者名  
受信日時 年 月 日 時 分 [電話・FAX・来局]

- 注1 . 報告の際、FAXがある場合は、まずFAXをしていただき、その後確認のため電力安全課あて電話連絡すること。(報告時間はFAXが入った時間とします。)
- 注2 . 「4.事故の種類」、「5.事故の概要」、「10.被害者の情報」、「11.主任技術者の選任形態」の欄については、該当する箇所を で囲み、必要事項について記載すること。
- 注3 . 「12.電気主任技術者名等」の欄については、管理技術者名(電気保安法人の場合は、法人名及び保安業務担当者名)を含む。
- 注4 . 電話番号は速報の問い合わせ先を記載すること。
- 注5 . 必要に応じ図面等を添付すること。
- 注6 . 用紙の大きさは、A4とすること。
- 注7 . 印は、記載不要。

(報告先) 関東東北産業保安監督部電力安全課安全推進係

〒330-9715 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地1

電 話 048-600-0388

F A X 048-601-1300

発電設備に係る事故については、電力安全課発電室に報告のこと。

電 話 048-600-0392

F A X 048-601-1301